

2017年度（平成29年度）外国人留学生対象奨学金募集要項

奨学金給付団体	公益財団法人 日本国際教育支援協会
奨学金名	JEES日本語教育普及奨学金（検定）
目的	日本語教育普及を図るため、日本語指導者の養成に資すること
採用人数	30名程度 (全国)
支給期間	2017年(平成29年)4月～最長2年間。(ただし、大学における在籍期間中)
支給金額	50,000円(月額)
応募資格 右記条件全て 満たすこと	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成29年4月1日時点において、正規生として日本の大学(大学院含む。以下「大学」という。)に在籍し、日本語指導者を目指す者。 ② 在留資格が「留学」である者 ③ 本協会が平成28年度に実施した日本語教育能力検定試験に合格した者 ④ 採用された場合の受給期間が平成29年4月より1学年相当以上ある者 ⑤ 本奨学金の受給期間中、他から受ける奨学金等受給月額合計が60,000円以下である者。ただし、貸与型奨学金、授業料免除及び一時金は除く。
応募書類	<ul style="list-style-type: none"> ① 願書:1通(別紙様式1。日本語で記載) ② 応募者の写真:1葉(最近6ヶ月以内に撮影したもの。4cm×3cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること) ③ 日本語教育能力検定試験 合否結果通知書(写し):1通 無い場合、合格証明書(写し)でも良い。
受給者の義務	<ul style="list-style-type: none"> ① 本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に毎年度末及び奨学金受給終了後、所定の様式により、大学を通じて理事長に提出しなければならない。 ② 住所・連絡先及び所属先(大学、就職先等)に変更があった場合、本奨学金受給期間中は大学を通じて、受給終了後は直接本協会へ遅滞なく届け出なければならない。 ③ 本協会の要請に応じ、アンケート等へ回答しなければならない。
その他注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ① 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、奨学金給付の終了に該当する行為(休学、留年、義務不履行、その他奨学生として相応しくない行為等)を行った場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。 ② 本奨学金受給生として採用された場合、他の奨学金の受給を目的として辞退することはできない。
応募期限	2017年(平成29年) 4月27日(月) PM 5:00 まで ※期限後の提出は一切認めません
書類提出先	<p>城西国際大学 東金キャンパス 留学生センター(C2棟1階)</p> <p>※紀尾井町キャンパスと安房キャンパス(観光学部)の留学生は、東金キャンパス宛てに郵送にて受け付ける。(27日必着。)</p> <p>郵送先: 〒283-8555 千葉県東金市求名1番地 城西国際大学 留学生センター 奨学金担当宛</p>

2017年4月1日 留学生センター

平成29年度 JEES日本語教育普及奨学金(検定) 募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、「平成29年度JEES日本語教育普及奨学金(検定)」の奨学生を下記により募集する。

記

1. 目的

本奨学金は、日本語教育普及を図るため、日本語指導者の養成に資することを目的とする。このため、日本の大学(大学院及び短期大学を含む)に在籍する学生(私費外国人留学生を含む)で、本協会実施の日本語教育能力検定試験(検定)に合格し日本語指導者を目指す者に対して、奨学金を支給する。

2. 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) 平成29年4月1日時点において、正規生として日本の大学(大学院及び短期大学を含む。以下「大学」という。)に在籍し、日本語指導者を目指す者。また、私費外国人留学生の場合、在留資格は「留学」であること。
- (2) 本協会が平成28年度に実施した日本語教育能力検定試験に合格した者。
- (3) 採用された場合の受給期間が平成29年4月より1学年相当以上ある者。
- (4) 本奨学金の受給期間中、他から受ける給付奨学金の受給月額合計が60,000円以下である者。ただし、貸与型奨学金、授業料免除及び一時金は除く。
- (5) 在籍大学の長の推薦を受けることのできる者。

3. 採用人数

30名程度

4. 支給内容

月額奨学金 50,000円

5. 支給期間

平成29年4月より最長2年間。ただし、推薦を受ける大学での在籍期間中に限る。

6. 応募・推薦方法

大学の長は、2に挙げる応募資格に該当する者について、7に挙げる応募・推薦書類を理事長に提出するものとする。なお、推薦人数等については、別途依頼文で示す。

7. 応募・推薦書類

- (1) 願書(別紙様式1。日本語で記載されたものに限る。) 1通
- (2) 応募者の写真(最近6ヶ月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) 1葉
- (3) 推薦書(別紙様式2) 1通
- (4) 日本語教育能力検定試験 合否結果通知書(写し) 1通
無い場合、合格証明書(写し)でもよい。

8. 応募・推薦書類の提出期限

平成29年5月11日(木)本協会必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備のある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

9. 選考方法及び結果の通知

理事長は、6により推薦された者について本協会に設置する選考委員会に諮り、受給者を決定する。結果は、平成29年7月中を目途に大学を通じて通知する。

10. 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

11. 受給者の義務

- (1) 受給者は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、毎年度末及び奨学金受給終了後、所定の様式により、大学を通じて理事長に提出しなければならない。
- (2) 受給者は、住所・連絡先及び所属先(大学、就職先等)に変更があった場合、本奨学金受給期間中は大学を通じて、受給終了後は直接本協会へ遅滞なく届け出なければならない。
- (3) 受給者は、本協会の要請に応じ、アンケート等へ回答しなければならない。

12. 奨学金給付の休止又は終了

- (1) 受給者が長期欠席した場合は、本奨学金を支給しない。
- (2) 受給者が、次の①から④のいずれかに該当した場合には、本奨学金の支給を打ち切る。
 - ① 大学を休学又は留年した場合。
 - ② 本奨学金受給者の義務を怠った場合。
 - ③ この要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ④ その他受給者として相応しくないと判断された場合。
- (3) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、受給決定を取り消す。

13. その他(注意事項等)

- (1) 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、12.に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。
- (2) 本奨学金受給生として採用された場合、他の奨学金の受給を目的として辞退することはできない。

14. 個人情報の取り扱い

応募・推薦書類上の個人情報は、本協会の実施する学生支援事業にのみ利用し、その他の目的には利用しない。

15. 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人 日本国際教育支援協会 事業部 国際交流課
〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29
TEL: 03-5454-5274 FAX: 03-5454-5242 E-mail: ix@jees.or.jp

以上

平成29年度JEES日本語教育普及奨学金(検定) 願書

年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

申請者署名
(自筆)

私は、平成29年度JEES日本語教育普及奨学金(検定)受給者として採用願いたく、下記記載事項に相違ありませんので、ここに申請いたします。なお、受給者として採用された場合は、他の奨学金の受給を目的として辞退することはありません。

記

● 氏名

	氏	名	写真 最近6ヶ月以内に撮影したもの。 サイズ4.0cm×ヨコ3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入すること。
フリガナ			
漢字 (ある場合のみ)			
ローマ字			

● 大学名等(支給開始時点)

_____ 大学・短期大学・大学院

_____ 学部・研究科 _____ 学科・専攻

① 学部生 ② 修士(博士前期)課程 ③ 博士(博士後期)課程 年次在籍

※①～③のいずれかに丸をつけたうえ、学年を記入してください。 (_____ 年 _____ 月 卒業予定)

※日本語教員養成課程履修の有無： ① 有り(主専攻) ② 有り(副専攻) ③ 無し

※①～③のいずれかに丸をつけてください。

● 国籍・地域

● 生年月日

_____ 年 _____ 月 _____ 日

(支給開始時点で満 _____ 歳)

● 性別

男・女

● 現住所等(※印は記入必須)

〒 _____

※ _____

TEL: _____ ※ 携帯電話: _____

※ E-mail (PC): _____

E-mail (携帯電話): _____

- 学習計画等(スペースが足りない場合、別紙(A4版)を添付してもよい)

(1) 学習・研究計画

学習・研究計画タイトル (無い場合は、概要) :

(2) 大学、短期大学または大学院での学習・研究を、将来日本語指導者としてどのように役立てられる(活用できる)

--

(3) 学業修了後、どのような進路を希望するか。また、将来どのような職業・仕事に就きたいと思うか。

--

以上

【記入上の注意】

- ・タイプ入力する場合は、印刷時に文字が切れないよう注意すること。
- ・氏名はローマ字の活字体を使用し、必ずパスポートと同一の記載とすること。